

第5章 【学習習慣形成の素地となる環境づくり（五者連携）】実践例

町内PTA主体による学習習慣形成のためのパンフレット制作・活用の取組 ～氷川町PTA連絡協議会～

自ら計画を立てて学習できる子供の育成に向けて、家庭でどのように子供に関わればよいかを、町内5校のPTA（氷川町PTA連絡協議会）が協力してパンフレットを制作し、町内全ての小中学校で活用している。

【氷川っ子 共に学び育む家庭学習の取組】

環境を整えよう

小学校編

- ★机の整理（勉強ができる準備をしよう）
- ★筆箱の整理
鉛筆、消しゴム、定規は揃っていますか。



学習の取組

- ★～ながら勉強の抑止（集中力をつける）
- ★家庭学習の習慣作り
- ★続ける内容を決めよう（自主学習のサポート）

親の応援

- ★子供がヤル気になる声かけ（魔法の言葉）
- ★一緒に取り組もう
（宿題のチェックで学習内容に関わろう）
- ★今日の出来事を聞いてみよう
（子供のことをもっと知ろう）

自分からはじめたね！

成長しているね！

がんばってるね！



子供の学習習慣形成のために保護者がどのように関わればよいかという視点で、発達段階に応じてパンフレットにまとめています。「熊本の学び推進プラン」も参考にし、子供をやる気にさせる学習環境づくりや保護者の声かけのポイント等が掲載されています。

保護者が主体となって作成しているので、子供の実態を捉えたものになっており、家庭での学習への働きかけにつながっています。また、小学校編・中学校編が両面印刷で作られており、子供の成長に合わせて活用することができます。